

EPOC/CPOTセミナー

# RNA

3回シリーズ

## RNA異常を標的にしたがん治療法開発の最新動向



近藤 豊  
名古屋大学  
大学院医学系研究科 腫瘍生物学 教授

第2回

5.20 月  
17:00-18:00

### TUG1を標的とした核酸医薬の開発

膠芽腫の発生には遺伝子変異等のゲノム異常のみならず、エピゲノム異常によるDNA情報の使用法や調節法のエラーがその病態に関わる。その中で長鎖非翻訳RNA(lncRNA)に関する研究の進歩は目覚しく、新たながん治療標的分子として期待されている。我々は膠芽腫で高発現するlncRNAの1つTUG1の機能を詳細に解析し、膠芽腫細胞の維持・増殖に必須であることを見出した。そこで“がん遺伝子”としての機能をもつTUG1に対するアンチセンスオリゴ(ASO)と、腫瘍選択的に送達可能なドラッグデリバリーシステム(DDS)を組み合わせたantiTUG1製剤を共同で開発した。非臨床試験を経て2024年より医師主導治療を開始している。本セミナーでは、TUG1の機能について紹介するとともに、がん治療における核酸医薬の可能性について議論を深めたい。



リンクラボ柏の葉1

会場

リンクラボ柏の葉1  
千葉県柏市柏の葉6丁目 6番2号

クリックすると地図が開きます



Zoom  
オンライン

ハイブリッド開催

参加登録はこちら！

<https://us02web.zoom.us/meeting/register/tZUuc-yrqDouGt3bXxQ0B9JHb1qMr9gzlZz1>

会場参加の場合も登録をお願いします。

